

博士課程前期課程

神戸大学大学院農学研究科は、農学を核とする専門的な知識を授けるとともに、食料・環境・健康生命に代表される農学の諸課題を探究することによって、持続共生社会を構築するための高度な知識と技術を備えた人材を育成し、知的基盤を創成することを目的としている。

この目的を達成するため、以下に示した方針に従って修士の学位を授与する。

学位:修士(農学)

食料共生システム学専攻・生産環境工学講座

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- ・本研究科前期課程に 2 年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げたものについては、前期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
- ・神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、修了までに、本講座学生が、身につけるべき能力を次のとおりとする。
 - ・食や農に関わる工学的分野の先端的な知識を理解することができる。
 - ・高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる工学的分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、課題を適切に設定することができる。
 - ・食や農に関わる工学的分野の専門知識にもとづき、適正な実験・調査を行い、その解析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述することができる。
 - ・食や農に関わる工学的分野における自己の研究成果を、学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として発表・活用することができる。

食料共生システム学専攻・食料環境経済学講座

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- ・本研究科前期課程に 2 年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げたものについては、前期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
- ・神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、修了までに、本講座学生が、身につけるべき能力を次のとおりとする。
 - ・食や農に関わる社会経済的分野の先端的な知識を理解することができる。
 - ・高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる社会経済的分野とその関連分野の研究

を批判的に検討し、課題を適切に設定することができる。

- ・食や農に関わる社会経済的分野の専門知識にもとづき、適正な情報収集・社会調査を行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述することができる。
- ・食や農に関わる社会経済的分野における自己の研究成果を、学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として発表・活用することができる。

資源生命科学専攻・応用動物学講座

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- ・本研究科前期課程に 2 年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げたものについては、前期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
- ・神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、修了までに、本講座学生が、身につけるべき能力を次のとおりとする。
 - ・食や農に関わる動物科学分野の先端的な知識を理解することができる。
 - ・高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる動物科学分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、課題を適切に設定することができる。
 - ・食や農に関わる動物科学分野の専門知識や技術にもとづき、適正な観察・実験を行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述することができる。
 - ・食や農に関わる動物科学分野における自己の研究成果を、学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として発表・活用することができる。

資源生命科学専攻・応用植物学講座

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- ・本研究科前期課程に 2 年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げたものについては、前期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
- ・神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、修了までに、本講座学生が、身につけるべき能力を次のとおりとする。
 - ・食や農に関わる植物科学分野の先端的な知識を理解することができる。
 - ・高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる植物科学分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、課題を適切に設定することができる。
 - ・食や農に関わる植物科学分野の専門知識にもとづき、適正な観察・実験を行い、その

分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述することができる。

- ・食や農に関わる植物科学分野における自己の研究成果を、学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として発表・活用することができる。

生命機能科学専攻・応用生命化学講座

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- ・本研究科前期課程に 2 年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げたものについては、前期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
- ・神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、修了までに、本講座学生が、身につけるべき能力を次のとおりとする。
 - ・食や農に関わる生命化学分野の先端的な知識を理解することができる。
 - ・高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる生命化学分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、課題を適切に設定することができる。
 - ・食や農に関わる生命化学分野の専門知識にもとづき、適正な情報収集・実験を行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述することができる。
 - ・食や農に関わる生命化学分野における自己の研究成果を、学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として発表・活用することができる。

生命機能科学専攻・応用機能生物学講座

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- ・本研究科前期課程に 2 年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げたものについては、前期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
- ・神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、修了までに、本講座学生が、身につけるべき能力を次のとおりとする。
 - ・食や農に関わる生物学分野の先端的な知識を理解することができる。
 - ・高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる生物学分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、課題を適切に設定することができる。
 - ・食や農に関わる生物学分野の専門知識にもとづき、適正な実験・調査を行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述することができる。
 - ・食や農に関わる生物学分野における自己の研究成果を、学術の進歩あるいは社会的

課題の解決策として発表・活用することができる。

博士課程後期課程

神戸大学大学院農学研究科は、農学を核とする広範かつ高度な知識を授けるとともに、食料・環境・健康生命に代表される農学の諸課題を探究することによって、持続共生社会を構築するための専門的な知識と技術を備えた人材を育成し、知的基盤を創成することを目的としている。

この目的を達成するため、以下に示した方針に従って博士の学位を授与する。

学位:博士(農学)

食料共生システム学専攻・生産環境工学講座

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- ・本研究科後期課程に3年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げたものについては、後期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
- ・神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、修了までに、本講座学生が、身につけるべき能力を次のとおりとする。
 - ・食や農に関わる工学的分野の先端的な知識を理解し、応用することができる。
 - ・高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる工学的分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、独自の課題を適切に設定することができる。
 - ・食や農に関わる工学的分野の専門知識にもとづき、適正な実験・調査を多面的かつ精確に行い、その解析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述することができる。
 - ・食や農に関わる工学的分野における自己の体系的な研究成果を、重要な学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として公表・活用することができる。

食料共生システム学専攻・食料環境経済学講座

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- ・本研究科後期課程に3年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げたものについては、後期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

- ・神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、修了までに、本講座学生が、身につけるべき能力を次のとおりとする。
- ・食や農に関わる社会経済的分野の先端的な知識を理解し、応用することができる。
- ・高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる社会経済的分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、独自の課題を適切に設定することができる。
- ・食や農に関わる社会経済的分野の専門知識にもとづき、適正な情報収集・社会調査を、多面的かつ精確に行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述することができる。
- ・食や農に関わる社会経済的分野における自己の体系的な研究成果を、重要な学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として公表・活用することができる。

資源生命科学専攻・応用動物学講座

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- ・本研究科後期課程に 3 年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げたものについては、後期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
- ・神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、修了までに、本講座学生が、身につけるべき能力を次のとおりとする。
- ・食や農に関わる動物科学分野の先端的な知識や技術を身につけ、応用することができる。
- ・高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる動物科学分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、独自の課題を適切に設定することができる。
- ・食や農に関わる動物科学分野の専門知識にもとづき、適正な観察・実験を、多面的かつ精確に行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述することができる。
- ・食や農に関わる動物科学分野における自己の体系的な研究成果を、重要な学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として公表・活用することができる。

資源生命科学専攻・応用植物学講座

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- ・本研究科後期課程に 3 年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げたものについては、後期課程に1年以上在

学すれば足りるものとする。

- ・神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、修了までに、本講座学生が、身につけるべき能力を次のとおりとする。
 - ・食や農に関わる植物科学分野の先端的な知識を理解し、応用することができる。
 - ・高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる植物科学分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、独自の課題を適切に設定することができる。
 - ・食や農に関わる植物科学分野の専門知識にもとづき、適正な観察・実験を、多面的かつ精確に行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述することができる。
 - ・食や農に関わる植物科学分野における自己の体系的な研究成果を、重要な学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として公表・活用することができる。

生命機能科学専攻・応用生命化学講座

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- ・本研究科後期課程に 3 年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げたものについては、後期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
- ・神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、修了までに、本講座学生が、身につけるべき能力を次のとおりとする。
 - ・食や農に関わる生命化学分野の先端的な知識を理解し、応用することができる。
 - ・高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる生命化学分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、独自の課題を適切に設定することができる。
 - ・食や農に関わる生命化学分野の専門知識にもとづき、適正な情報収集・実験を、多面的かつ精確に行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述することができる。
 - ・食や農に関わる生命化学的分野における自己の体系的な研究成果を、重要な学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として公表・活用することができる。

生命機能科学専攻・応用機能生物学講座

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- ・本研究科後期課程に 3 年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げたものについては、後期課程に1年以上在

学すれば足りるものとする。

- ・神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、修了までに、本講座学生が、身につけるべき能力を次のとおりとする。
 - ・食や農に関わる生物学分野の先端的な知識を理解し、応用することができる。
 - ・高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる生物学分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、独自の課題を適切に設定することができる。
 - ・食や農に関わる生物学分野の専門知識にもとづき、適正な実験・調査を、多面的かつ精確に行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述することができる。
 - ・食や農に関わる生物学分野における自己の体系的な研究成果を、重要な学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として公表・活用することができる。

学位:博士(学術)

食料共生システム学専攻・生産環境工学講座

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- ・本研究科後期課程に3年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げたものについては、後期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
- ・神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、修了までに、本講座学生が、身につけるべき能力を次のとおりとする。
 - ・食や農に関わる工学的分野の先端的な知識を理解し、応用することができる。
 - ・高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる工学的分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、独自の課題を適切に設定することができる。
 - ・食や農に関わる工学的分野の専門知識にもとづき、適正な実験・調査を多面的かつ精確に行い、その解析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述することができる。
 - ・食や農に関わる工学的分野における自己の体系的な研究成果を、重要な学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として公表・活用することができる。
 - ・学際的知識を有し、食や農に関わる工学的分野に応用できる。

食料共生システム学専攻・食料環境経済学講座

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- ・本研究科後期課程に 3 年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げたものについては、後期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
- ・神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、修了までに、本講座学生が、身につけるべき能力を次のとおりとする。
 - ・食や農に関わる社会経済的分野の先端的な知識を理解し、応用することができる。
 - ・高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる社会経済的分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、独自の課題を適切に設定することができる。
 - ・食や農に関わる社会経済的分野の専門知識にもとづき、適正な情報収集・社会調査を、多面的かつ精確に行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述することができる。
 - ・食や農に関わる社会経済的分野における自己の体系的な研究成果を、重要な学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として公表・活用することができる。
 - ・学際的知識を有し、食や農に関わる社会経済的分野に応用できる。

資源生命科学専攻・応用動物学講座

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- ・本研究科後期課程に 3 年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げたものについては、後期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
- ・神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、修了までに、本講座学生が、身につけるべき能力を次のとおりとする。
 - ・食や農に関わる動物科学分野の先端的な知識や技術を身につけ、応用することができる。
 - ・高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる動物科学分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、独自の課題を適切に設定することができる。
 - ・食や農に関わる動物科学分野の専門知識にもとづき、適正な観察・実験を、多面的かつ精確に行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述することができる。
 - ・食や農に関わる動物科学分野における自己の体系的な研究成果を、重要な学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として公表・活用することができる。
 - ・学際的知識を有し、食や農に関わる動物科学分野に応用できる。

資源生命科学学専攻・応用植物学講座

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- ・本研究科後期課程に 3 年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げたものについては、後期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
- ・神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、修了までに、本講座学生が、身につけるべき能力を次のとおりとする。
 - ・食や農に関わる植物科学分野の先端的な知識を理解し、応用することができる。
 - ・高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる植物科学分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、独自の課題を適切に設定することができる。
 - ・食や農に関わる植物科学分野の専門知識にもとづき、適正な観察・実験を、多面的かつ精確に行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述することができる。
 - ・食や農に関わる植物科学分野における自己の体系的な研究成果を、重要な学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として公表・活用することができる。
 - ・学際的知識を有し、食や農に関わる植物科学分野に応用できる。

生命機能科学専攻・応用生命化学講座

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- ・本研究科後期課程に 3 年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げたものについては、後期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
- ・神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、修了までに、本講座学生が、身につけるべき能力を次のとおりとする。
 - ・食や農に関わる生命化学分野の先端的な知識を理解し、応用することができる。
 - ・高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる生命化学分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、独自の課題を適切に設定することができる。
 - ・食や農に関わる生命化学分野の専門知識にもとづき、適正な情報収集・実験を、多面的かつ精確に行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述することができる。
 - ・食や農に関わる生命化学的分野における自己の体系的な研究成果を、重要な学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として公表・活用することができる。

- ・学際的知識を有し、食や農に関わる生命化学分野に応用できる。

生命機能科学専攻・応用機能生物学講座

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- ・本研究科後期課程に 3 年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げたものについては、後期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
- ・神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、修了までに、本講座学生が、身につけるべき能力を次のとおりとする。
 - ・食や農に関わる生物学分野の先端的な知識を理解し、応用することができる。
 - ・高い倫理観と使命感をもって、食や農に関わる生物学分野とその関連分野の研究を批判的に検討し、独自の課題を適切に設定することができる。
 - ・食や農に関わる生物学分野の専門知識にもとづき、適正な実験・調査を、多面的かつ精確に行い、その分析結果から新規な結論を導くとともに、適切に考察・論述することができる。
 - ・食や農に関わる生物学分野における自己の体系的な研究成果を、重要な学術の進歩あるいは社会的課題の解決策として公表・活用することができる。
 - ・学際的知識を有し、食や農に関わる生物学分野に応用できる。